

令和 8 年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	国語・数学	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	国語	(知)日常生活での身近な言葉や我が国の言語文化に触れ、親しんだり使ったりすることができるようにする。			
		(思)人との関わりを通して、イメージした言葉や気持ちを伝えるために自分の声や身体の動きで表現する力を培う。			
		(学)言葉やそのイメージを表した言葉掛け、音楽や映像などに興味を持ち、追視をしたり鑑賞をしたりする態度を培う。			
	数学	(知)身の回りのものの数、大きさ、長さ、形などに注目し、数量を直感的に捉えたり、言葉を用いて表現したりする力を養う。			
(思)身の回りにあるものの有無、数、大きさ、長さ、形など見たり触ったりしながら、対応させたり、比べたりする力を培う。					
(学)ものものとの関係に注意を向け、活動に繰り返し取り組みながら、数量や形などを表現する言葉に親しむ。					
※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等					
担当教職員	教諭:野畑慶匡、松島理絵、森本健治、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	五味太郎・言葉図鑑①うごきのことば(偕成社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点)		
					(知)知識・技能	(思)思考力・判断力・表現力	(主)主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	詩を感じよう	6	○詩、俳句、音楽と歌詞等の読みと再現活動。 ◆教員の読みを通して、詩や俳句、歌詞の言葉やリズムに親しみ、物語の内容イメージをもつ。	(知)詩や歌詞の中の言葉に触れ、音声ら映像を通して物語の内容イメージをもつことができる。	(思)詩の世界で好きな言葉や場面に視線や表情で表出できる。	(主)詩の世界に興味をもち、素材や音に触れながら活動に取り組む姿勢が見られる。
	5	感じよう、やってみよう	6	○身近な物の名前・数唱・量などにふれたり、選択したりする。 ◆活動を通して身近な物の名前や数、量に親しみをもつ。	(知)活動の中で数える、並べる、位置、順番などを意識することができる	(思)前後、左右などの空間認識を使って、動きの順序や位置を体感できる。	(主)音楽と動きが連動する活動に興味を持ち、積極的に参加できる。
	6	書いてみよう	12	○身近なひらがなやカタカナ、数字を見たり、書いたりする。 ◆ひらがなやカタカナ、数字に触れ、親しみ、見たり書いたりする活動を通して理解しようとする。	(知)自分の名前や身近な言葉や数に触れ、文字カードやなぞり書きを通して意味を理解しようとする。	(思)好きな言葉や歌詞の一部をなぞったり貼ったりすることで、自分の気持ちを表そうとする。	(主)文字を書く活動や完成した文字を見て満足そうな表情が見られる。
	7	感じよう、表現しよう	4	○群読や芝居などの場面を見たり聞いたりする。声の強弱、緩急、重なりなどに興味・関心をもつ。 ◆身近な言葉や数に触れる中で、声の強弱や緩急に気づき、意味を理解しようとする。	(知)身近な言葉や数に触れ、映像や音声を通して意味を理解しようとする。	(思)好きな言葉やフレーズを体感して、ジェスチャーや音声で気持ちを表そうとする。	(主)教職員の促しに応じて積極的に参加する姿勢が見られる。
二 学 期	9	詩を感じよう	6	○詩、俳句、音楽と歌詞等の読みと再現活動。 ◆教員の読みを通して、詩や俳句、歌詞の言葉やリズムに親しみ、物語の内容イメージをもつ。	(知)詩や歌詞の中の言葉に触れ、音声ら映像を通して物語の内容イメージをもつことができる。	(思)詩の世界で好きな言葉や場面に視線や表情で表出できる。	(主)詩の世界に興味をもち、素材や音に触れながら活動に取り組む姿勢が見られる。
	10 前半	お芝居をしよう	3	○虹輝祭劇発表に向けて、友達の様子や自分の声、発声、身体の動きなどを通して、ストーリーを体感する。 ◆虹輝祭に向けて、劇や群読を通して声や動きに関心を持ち、動きや表情を練習する。	(知)詩・歌詞・物語・映像などを鑑賞して、テーマを知る。	(思)「声を出す」「動く」「光を当てる」「布を動かす」などの役割を選ぶことができる。	(主)音楽や語りに合わせて、動きや表情を練習しようとする。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	お芝居をしよう	4	○虹輝祭劇発表に向けて、ストーリーを自分の声、発声、身体の動きなどで表現する。	(知) 劇の流れや自分の出番を意識しながら、活動に取り組むことができる。 (思) 劇中では自分のセリフや動きを視線・表情・ジェスチャーで表そうとすることができる。 (主) 仲間と一緒に表現することに喜びを感じる様子が見られる。
	11	お芝居をしよう	6		(知) 劇の流れや自分の出番を意識しながら、活動に取り組むことができる。 (思) 劇中では自分のセリフや動きを視線・表情・ジェスチャーで表そうとすることができる。 (主) 仲間と一緒に表現することに喜びを感じる様子が見られる。
	12	季節の言葉にふれよう、書こう	7	○季節のカードや年賀状に名前や言葉を書く。 ◆季節のカードや年賀状を書く活動を通して、季節を感じる言葉や数に触れ意味を理解しようとする。	(知) 季節を感じる言葉や数に触れ、書くことを通じて意味を理解しようとすることができる。 (思) 好きな言葉を貼ったり書いたりして、自分の気持ちを表そうとする。 (主) 文字を書く活動や完成した文字を見て満足そうな表情が見られる。
二 学 期	1	書道で日本文化を体験しよう	5	○書初め ○筆で日本の文字を書く。 ◆筆を使って文字を書くことに親しみ、日本の文字の形や表現に気付くことができる。	(知) 季節の言葉や日本文化に関する語句に触れ、意味を理解しようとする。 (思) 文字の配置や大きさを体感しながら、筆を動かす活動に取り組むことができる。 (主) 日本文化の雰囲気に興味を持つ様子が見られる。
	2	詩を感じよう	7	○詩、俳句、音楽と歌詞等の読みと再現活動。 ◆教員の読みを通して、詩や俳句、歌詞の言葉やリズムに親しみ、物語の内容イメージをもつ。	(知) 詩や歌詞の中の言葉に触れ、音声ら映像を通して物語の内容イメージをもつことができる。 (思) 詩の世界で好きな言葉や場面に視線や表情で表出できる。 (主) 詩の世界に興味をもち、素材や音に触れながら活動に取り組む姿勢が見られる。
	3	1年間の授業を振り返ろう	6	○1年間の国語・数学の復習	(知) 具体物や映像を通して、身近な言葉や数量などの意味を理解しようとする姿が見られる。 (思) 活動を通して視線や表情、身体の動きなどで自分の気持ちを表そうとする場面が見られる。 (主) 活動に興味を持ち、意欲的に参加する姿が見られる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に合わせ姿勢や教材の提示方法を工夫する。 ・読み聞かせでは、声や身振りに変化を付け物語や詩の世界が伝わるようにする。 ・音や振動のする教材を用意し、興味・関心につなげる。 ・具体的な物を中心に用いて、言葉や数量のイメージを広げられるように工夫する。 ・生徒の実態に応じて全体指導と個別指導を行う。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	音楽	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)音楽表現を楽しむために必要な技能を身に着けようとしている。				
	(思)音や音楽に気づきながら感心や興味を持って活動できる。				
	(学)音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとしている。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:松島理絵、森本健治、野畑慶匡、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	クラス合唱用MYSONG 6訂版(教育芸術社)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
					(知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 に取り組む態度 (主)主体的に学習
一 学 期	4	楽器を演奏しよう①	8	○器楽(琴・鈴) 音楽鑑賞 ◆琴や鈴の音色に親しみ、支援を受けながら楽器に触れて演奏する楽しさを味わう。	(知) 琴や鈴の扱い方を理解し、支援を受けながら音を鳴らすことができる。(思) 音色や曲想を感じ取り、強弱や身体の動きで演奏に表現を加えることができる。(主) 器楽や鑑賞に興味・関心をもち、友人と音楽を楽しみながら活動できる。
	5	楽器を演奏しよう①	6	○器楽(琴・鈴) 音楽鑑賞 ◆琴や鈴を使って音やリズムを表現し、友人と一緒に音楽を楽しむ。	(知) 琴や鈴の扱い方を理解し、音やリズムを表現できる。(思) 音色や曲想を感じ取り、強弱や身体の動きで演奏に表現を加えることができる。(主) 器楽や鑑賞に興味・関心をもち、友人と音楽を楽しみながら活動できる。
	6	楽器を演奏しよう②	10	○器楽(ウクレレ・タンバリン) 音楽鑑賞 ◆ウクレレやタンバリンに触れ、異国のリズムや音色を楽しむ。	(知) ウクレレやタンバリンの特徴を知り、教師の支援を受けながら楽器を演奏することができる。(思) 異国の楽しい音色や曲想を感じ取り、リズムや身体の動きで表現できる。(主) 異国のリズムに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	7	楽器を演奏しよう②	4	○器楽(ウクレレ・タンバリン) 音楽鑑賞 ◆異国の楽しい音楽に合わせて、リズムや身体の動きで表現する。	(知) ウクレレやタンバリンの特徴を知り、教師の支援を受けながら楽器を演奏することができる。(思) 異国の楽しい音色や曲想を感じ取り、リズムや身体の動きで表現できる。(主) 異国のリズムに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
二 学 期	9	音楽に合わせて体を動かそう①	6	○ダンス 音楽鑑賞 ◆曲のリズムやテンポを感じ取り、身体を動かす楽しさを味わう。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。(思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとするすることができる。(主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	10 前半	音楽に合わせて体を動かそう①	4		(知) 曲のリズムやテンポに合わせて、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。(思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとするすることができる。(主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	音楽に合わせて体を動か そう①	4	○ダンス 音楽鑑賞 ◆友人と一緒にダンスを楽しみ、音楽に合わせて身体を動 かす。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせ、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	11	音楽に合わせて体を動か そう②	4	○ダンス 音楽鑑賞 ◆様々な曲の雰囲気を感じ取り、自分なりのダンス表現を 楽しむ。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせ、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
	12	音楽に合わせて体を動か そう②	8	○ダンス 音楽鑑賞 ◆ダンス活動を通して、音楽表現の楽しさや達成感を味わ う。	(知) 曲のリズムやテンポに合わせ、教師の支援を受けながら身体を動かすことができる。 (思) 曲の雰囲気を感じ取り、自分なりの動きや表情で表現しようとする事ができる。 (主) ダンスに興味・関心をもち、意欲的に活動することができる。
三 学 期	1	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	6	○器楽(ボンゴ・コンガ) 手話歌 ◆ボンゴやコンガの音色に親しみ、自分なりのリズムを表 現する楽しさを味わう。	(知) ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。(思) 異国の曲 の雰囲気を感じ取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。(主) 器楽や手話歌に 興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
	2	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	6	○器楽(ボンゴ・コンガ) 手話歌 ◆異国の曲の雰囲気を感じ取り、手話歌を通じて表現する 喜びを感じる。	(知) ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。(思) 異国の曲 の雰囲気を感じ取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。(主) 器楽や手話歌に 興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
	3	リズムを楽しもう 手話歌をやってみよう	6	○器楽(ボンゴ・コンガ) 手話歌 ◆友人と一緒に器楽や手話歌を楽しみ、1年間の音楽活 動の成果を味わう。	(知) ボンゴやコンガの奏法を知り、自分なりのリズムを打つことができる。(思) 異国の曲 の雰囲気を感じ取り、自分なりのリズムで曲を楽しむことができる。(主) 器楽や手話歌に 興味・関心をもち、友人の楽しみながら参加することができる。
そ の 他	通 年	・はじまりとおわりの歌を歌 おう。 ・発声練習をしよう。 ・季節の歌を歌おう。	○はじまりの歌・おわりの歌 発声練習 季節の歌の歌唱・鑑賞	(知) 発声練習を通して、自分なりの発声の仕方を身に付け、歌唱に生かすこと ができる。(思) 季節の歌の雰囲気を感じ取り、自分なりの声や身体表現で表す ことができる。(主) 毎時間の歌や鑑賞に親しみ、意欲的に音楽活動に参加する ことができる。	
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の実態に応じて、楽器の持ち方や演奏方法を個別に支援する。 ・音楽活動に見通しがもてるよう、始まりと終わりの歌を毎時間取り入れる。 ・友人と一緒に音楽を楽しめるよう、ペアやグループでの活動を取り入れる。 ・生徒の興味・関心に合わせた楽曲を選択し、意欲的に活動できるようにする。 ・達成感を味わえるよう、発表の機会を設けたり、称賛の言葉かけを積極的に行う。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	美術	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	72 単位時間
年間指導目標	(知)色や形の違いなど造形的な見方を知り、材料や用具を使って表す。				
	(思)色や形など造形的な良さや美しさを感じ取りながら、自分なりのイメージをもち、表現力を高める。				
年間指導目標	(学)美術の創造活動の楽しさや喜びを味わい、進んで活動に取り組む。				
	※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:野畑慶匡、松島理絵、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	DO！図鑑シリーズ工作図鑑(福音館書店)				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
					(知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	【絵画】 植物を描く 季節の作品(春)	6	○水性絵の具を使って描く ○さまざまな素材や道具を使って描く。 ○絵の具を使い、植物の絵を描く。 (筆やスタンプ、ローラーなどを使って) ◆絵の具を手で直に触った感触や筆やスタンプ、ローラーなどを使って描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。 ◆絵の具の匂いなど五感で味わいながら制作する。	(知) 絵の具の色や造形の変化に気付き、多彩な表し方で変化させようとする。 (思) お手本や友達の商品を見て、自分なりのイメージで表現しようとする。 (主) 筆やスタンプ等の多彩な道具に自発的に触れ制作しようとする。
	5	【絵画】 植物を描く	6		
	6	【立体造形】 生活を彩る色と形	8	○粘土の感触を味わいながら、様々な形をつくる ○絵の具を使い、色や模様をつける ◆粘土に触れながら、形の特徴に気付き、自分なりに表現する ◆絵の具を手で直に触った感触や筆やスタンプ、ローラーなどを使って描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。	(知) 粘土の形や色、感触の変化を確かめながら行う。 (思) 作る物に興味をもち、自ら作りたい形や模様、色を選択する。 (主) 進んで粘土に触れたり、視線を向けたりしながら活動する。
	7	【立体造形】 生活を彩る色と形	6		
二 学 期	9	【共同制作】 虹輝祭を盛り上げよう	8	○筆やスタンプ、ローラーなどを使って舞台で使う装飾や背景、ポスターの制作 ◆舞台で使う装飾や背景、ポスターの制作を通して、虹輝祭に向けて気持ちを高め、絵の具を手で直に触った感触や筆やスタンプ、ローラーなどを使って描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。	(知) 道具や用具を使い、表現に活かせる。 (思) 作るものに適した色などを考えて制作する。 (主) 集団で一つのものを作成する達成感を味わう。
	10 前半	【共同制作】 虹輝祭を盛り上げよう	4		

期	月	単元(題材)名	指導 時数	○主な学習内容◆ねらい	単元の目標(評価の観点)
二 学 期	10 後 半	【共同制作】 虹輝祭を盛り上げよう	4	○筆やスタンプ、ローラーなどを使って舞台上使う装飾や背景、ポスターの制作 ◆舞台上使う装飾や背景、ポスターの制作を通して、虹輝祭に向けて気持ちを高め、絵の具を手で直に触った感触や筆やスタンプ、ローラーなどを使って描く感覚(腕を伸ばす感覚)を感じながら制作する。	(知) 道具や用具を使い、。 (思) 作るものに適した色などを考えて制作する。 (主) 集団で一つのものを作成する達成感を味わう。
	11	【映像メディア】 動く模様	6	○デジタル機器を使い、線や形が動く映像を作る。 ◆iPadを用いて、意欲的に腕や手を動かし、できた線や形の動きを楽しみながら制作する。	(知) 映像に興味をもち、描いた線や形が動く面白さや美しさに気付く。 (思) デジタル機器で線や形を描くことに慣れ、形や色を選んで表す。 (主) 進んで映像に視線を向けたり、手や腕をよく動かしたりして制作する。
	12	【映像メディア】 動く模様	8		
三 学 期	1	【版画】 刷って重ねて	2	○版を使い、刷り重ねて作品を作る。 ◆版を使って刷り重ねることで、変化する色や形の違いや表れに気づき、変化を感じながら制作する。	(知) 材料や用具によって現れる形が違うことに気付く。 (思) 好きな色や使ってみたい材料や用具を自ら選んで制作をする。 (主) 版を刷り重ねることで変化する形や色に興味をもち、進んで活動する。
	2		8		
	3		6		
そ の 他	通 年	手指の体操		・制作の前には身体の緊張をほぐし、手指を動かしやすいにする手指の体操を取り入れ、学習する姿勢を作る。	
指導の工夫 学習時の配慮事項等				・ 作品の見本や制作手順の手本などを具体的に示す。 ・ 学習を繰り返し行い、見通しやイメージをもてるようにする。 ・ 行事や季節等に関する制作活動を取り入れる。	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	保健体育	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	76 単位時間
年間指導目標	(知)個人生活に必要な健康の保持増進と体力の向上を図り、身体を動かす。 (思)運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動機能の維持、向上を目指す。 (学)各種運動における多様な経験によって協力や責任などの態度を育て、簡単なゲームなどのルールを理解する。 ※ (知) 知識及び技能 (思) 思考力、判断力、表現力等 (学) 学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:松島理絵、森本健治、野畑慶匡、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	[改訂新版]イラスト版からだのつかい方・ととのえ方 子どもとマスターする45の操体法(合同出版)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一 学 期	4	身体を動かそう	7	○身体ゆさぶり、身体のリラックス、教職員との触れ合い ◆手足を動かして、体の動きを感じ取る。 ◆身体をリラックスさせ、身体を動かす楽しさ、心地よさを感じる。	(知) 身体の動かし方など基本的な運動の動きを身に付ける。 (思) 自分の体の動きや活動の様子を感じとる。 (主) 自分のペースで参加したり、体を動かす楽しさや達成感を味わったりする。
	5	リレー走の練習	9	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 ◆スタートとゴールを意識し完走する。	(知) 課題に応じた身体の動かし方を知る。 (思) スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 (主) 教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わったりする。
	6	リレー走の練習	6	○課題走やゲーム(体育発表の練習) ◆個々の課題を達成する。 ◆スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 ◆スタートとゴールを意識し完走する。	(知) 課題に応じて個々が身体を工夫して動かすことができる。 (思) スタートの合図に応じて動作を開始し、自分なりの方法でレーンを進む。 (主) 教師や級友とのやり取りを楽しみながら達成感を味わったりする。
	7	水泳	4	○水慣れや浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。	(知) 支援を受けながら浮力を感じたり手足を動かしたりする。 (思) 水中での体の動きを感じ、表情やしぐさで気持ちを表す。 (主) 水に親しみを持って活動に参加し浮力の心地よさを感じる
二 学 期	9	水泳	8	○水慣れや浮遊 ◆水中で身体の緊張を緩める。	(知) 支援を受けながら浮力を感じたり手足を動かしたりする。 (思) 水中での体の動きを感じ、表情やしぐさで気持ちを表す。 (主) 水に親しみを持って活動に参加し浮力の心地よさを感じる
	10 前半	武道	4	○剣道 ◆剣道具に触れたり、音や動きを感じたりしながら、活動に親しむ。	(知) 竹刀や防具に触れたり、打つ動作を体験したりしながら活動を知る。 (思) 竹刀を打つ感覚や自分なりの動かし方を工夫する。 (主) 体を動かしたり「礼」で相手と関わったりする楽しみを感じる

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	武道	5	○剣道 ◆剣道具に触れたり、音や動きを感じたりしながら、活動に親しむ。	(知) 竹刀や防具に触れたり、打つ動作を体験したりしながら活動を知る。 (思) 竹刀を打つ感覚や自分なりの動かし方を工夫する。 (主) 体を動かしたり「礼」で相手と関わったりする楽しみを感じる
	11	ラグビー	8	○タグラグビー ◆ボールのパスやタグ取りなど、それぞれの方法で取り組む。	(知) 活動に親しみながら、タグやボールに触れたり転がしたりする。 (思) プレーが上手く行った時に、表情や声で表そうとする。 (主) 支援を受けながらも、自分の思いやペースで参加しようとする姿が見られる。
	12	ラグビー	7	○タグラグビー ◆ボールのパスやタグ取りなど、それぞれの方法で取り組む。	(知) 活動に親しみながら、タグやボールに触れたり転がしたりする。 (思) プレーが上手く行った時に、表情や声で表そうとする。 (主) 支援を受けながらも、自分の思いやペースで参加しようとする姿が見られる。
二 学 期	1	ポッチャ	6	○ボールを押し出す。転がす。 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。	(知) 自分に合った方法でボールを転がすことができる。 (思) 動きや表情、視線で思いを伝える。 (主) ボールが動いたり、目標に近づいたりすることを感じ取り、嬉しさや興味を表す。
	2	ポッチャ	7	○ボールを押し出す。転がす。 ◆ボールに触れ、手や腕を動かしボールが動く様子を感じながら活動する。	(知) 自分に合った方法でボールを転がすことができる。 (思) 動きや表情、視線で思いを伝える。 (主) ボールが動いたり、目標に近づいたりすることを感じ取り、嬉しさや興味を表す。
	3	まとめの活動	5	○1, 2学期の活動の振り返り。 ◆1年間の活動のまとめを行う。教員や友達と関わりながらスポーツの楽しさを知る。	(知) 好きな運動や動きを楽しむことができる。 (思) できた。嬉しい。などの思いを表情で表す。 (主) 身体のいろいろな使い方を振り返り、楽しみながら身体を動かすことができる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・個々の実態に合った教材を準備する。 ・個々に合わせて適切に課題を設定する。 ・健康状態に合わせ活動時間を設定し、活動中の疲労や体調変化に注意する。 	

令和8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	
教科等名	特別活動	グループ名		年間授業時数	39 単位時間
年間指導目標	(知)様々な集団行動を行う上で必要となることについて理解する。 (思)様々な場面で自分と異なる考えにある多様な他者を尊重して認め合い支え合う。 (学)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けことを生かして自己実現を図ろうとする態度を養う。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教員:森本健治、松島理恵、上野はつえ、長岡優花、野畑慶匡 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	高3年のスタート	3	○3年生の集団紹介、1年間の行事紹介、係り活動決め等 ◆今年度の活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。	(知)今年度の活動や友達・教職員を知り、新たに始まる学校生活を意識する。 (思)自分のやりたい係を考えて、選ぶ。 (主)新しい教員と関わりながら係を決める。
	5	卒業制作	4	○卒業制作 ◆卒業制作のタンブラーのデザインを考える。	(知)見本を見ながら自分の好きなデザインを考える。 (思)デザインの見本の中から自分の好きな物を選ぶ。 (主)教員と相談しながら、自分からデザインを決めていく。
	6	レクリエーション活動	4	○学年のフェスティバルを行う。 ◆学年のフェスティバルに向けて友達と協力してゲーム等考える。	(知)イベントの内容について理解する。 (思)イベントで行うゲーム等を友達と協力して考える。 (主)友達同士で協力して関わりをさらに深める。
	7	レクリエーション活動	3	○学部交流会に向けて準備する。 ◆学部交流会で行うレクリエーションの準備を友達と協力して行う。	(知)行事の内容について理解する。 (思)行事で行うゲーム等を友達と協力して考える。 (主)友達同士で協力して関わりをさらに深める。
二学期	9	虹輝祭にむけて	4	○虹輝祭に向けて準備をする。 ◆虹輝祭の発表の内容について友達と協力して考え、準備する。	(知)舞台発表の内容について意識する。 (思)友達と協力して発表について考え、自分の役割を理解する。 (主)舞台練習を通じて、皆で発表を作り上げる経験を積む。
	10前半	虹輝祭にむけて	2	○虹輝祭に向けて準備をする。 ◆虹輝祭の発表の内容について友達と協力して考え、準備する。	(知)舞台発表の内容について意識する。 (思)友達と協力して発表について考え、自分の役割を理解する。 (主)舞台練習を通じて、皆で発表を作り上げる経験を積む。

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	虹輝祭にむけて	2	○虹輝祭に向けて準備をする。 ◆虹輝祭の発表の内容について友達と協力して考え、準備する。	(知)舞台発表の内容について意識する。 (思)友達と協力して発表について考え、自分の役割を理解する。 (主)舞台練習を通じて、皆で発表を作り上げる経験を積む。
	11	虹輝祭にむけて	4	○虹輝祭に向けて準備をする。 ◆虹輝祭の発表の内容について友達と協力して考え、準備する。	(知)舞台発表の内容について意識する。 (思)友達と協力して発表について考え、自分の役割を理解する。 (主)舞台練習を通じて、皆で発表を作り上げる経験を積む。
	12	学期のまとめ	4	○2学期の学習活動、また個人の成長を振り返る。 ◆虹輝祭の発表について振り返り、学期のまとめを行う。	(知)舞台発表の内容について振り返る。 (思)それぞれがんばったことを発表し、友達の考えを共有する。 (主)それぞれがんばったことを発表し、活動を振り返る。
二 学 期	1	レクリエーション活動	3	○レクリエーション活動を行う。 ◆友達と協力して活動を行う。	(知)活動の内容やチームでの役割を理解する。 (思)役割や作戦を話し合い、チームで協力する。 (主)友達と協力しながら活動する。
	2	卒業に向けて	3	○卒業式練習 ◆卒業式の練習を通して、卒業に向けて意識をもって取り組む。	(知)学校生活を振り返ることで卒業後の生活に繋げる。 (思)卒業生の言葉の内容を考え、練習する。 (主)卒業式の練習に友達と協力して取り組む。
	3	卒業に向けて	3	○卒業式練習 ◆卒業式の練習を通して、卒業に向けて意識をもって取り組む。	(知)学校生活を振り返ることで卒業後の生活に繋げる。 (思)卒業生の言葉の内容を考え、練習する。 (主)卒業式の練習に友達と協力して取り組む。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・学年の友達との関わりを通し、豊かな人間関係を築けるような活動を設定する。 ・行事に合わせた活動を設定する。 ・活動内容を生徒が決める等、個々の自主性を引き出せるようにする。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	自立活動	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	449 単位時間
年間指導目標	(知)健康を保持し、基本的な生活習慣を形成し、元気に学習を続けることのできる基礎的体力をつける。 (思)身体のリラクゼーションや運動・動作を通じて体の変形、障害の進行を防止する。 (学)教員との一対一のかかわりを深める中で、心理的安定を図り、コミュニケーション能力を高める。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:松島理絵、森本健治、野畑慶匡、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点） (知) 知識・技能 (思) 思考力・判断力・表現力 (主) 主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	通年 個に応じた課題の取り組み 身近な健康の保持 からだの取り組み コミュニケーション 個別課題	40	○衣服の調節 ◆衣服の着脱等を実態に応じて行うことができる。 ○水分補給 ◆適切に水部を摂取する方法を身に付けることができる。 ○リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ストレッチや姿勢変換を通して筋緊張を緩和する。 ○排痰の取り組み ◆うつ伏せ姿勢や加湿等を実施して ○歩行(介助歩行) ◆適切な歩行方法で歩行することができる。 ○立位(立位台等の利用) ◆姿勢を保持し、筋力の向上を図ることができる。 ○コミュニケーション活動 ◆それぞれの方法でコミュニケーションを図ることができる。 ○教具等の操作練習 ◆教具等を操作し手指の操作性と目と手の協応性を高める。	(知)衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自分のできる範囲で行うことができる。 (知)適切な水分を摂取する方法を身に付けることができる。 コップの準備や後片付けなどに取り組むことができる。 (思)姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図ることができる。 (知)加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促し、健康の保持に繋げることができる。 (知)適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (知)姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (思)個に応じたコミュニケーション手段が図れるようになる。 (知)手指の操作性や目と手の協応性を高めることができる。
	5		42		
	6		51		
	7		30		
二学期	9		44		
	10前半		24		

期	月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標（評価の観点）
一 学 期	10 後 半	通年 個に応じた課題の取り組み 身辺処理 健康の保持 からだの取り組み コミュニケーション 個別課題	23	○衣服の調節 ◆衣服の着脱等を実態に応じて行うことができる。	(知)衣服の着脱等の身支度を、生徒の実態に応じて、自分のできる範囲で行うことができる。 (知)適切な水分を摂取する方法を身に付けることができる。 コップの準備や後片付けなどに取り組むことができる。 (思)姿勢変換や身体ストレッチを通して、緊張を緩和し関節の変形や拘縮の予防を図ることができる。 (知)加湿等を実施し、うつ伏せ位等の姿勢をとることで、痰の排出を促し、健康の保持に繋げることができる。 (知)適切な歩行方法を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (知)姿勢を保持する力を身に付け、筋力の向上を図ることができる。 (思)個に応じたコミュニケーション手段が図れるようになる。 (知)手指の操作性や目と手の協応性を高めることができる。
	11		46	○水分補給 ◆適切に水部を摂取する方法を身に付けることができる。 ○リラクゼーションや筋緊張の緩和 ◆ストレッチや姿勢変換を通して筋緊張を緩和する。	
	12		44	○排痰の取り組み ◆うつ伏せ姿勢や加湿等を実施して ○歩行(介助歩行) ◆適切な歩行方法で歩行することができる。 ○立位(立位台等の利用) ◆姿勢を保持し、筋力の向上を図ることができる。	
三 学 期	1	32	○コミュニケーション活動 ◆それぞれの方法でコミュニケーションを図ることができる。		
	2	43	○教具等の操作練習 ◆教具等を操作し手指の操作性と目と手の協応性を高める。		
	3	34			
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の体調を、十分に把握して、日々の指導を行う。 ・必要に応じて、検温や聴診など保健室と連携して、丁寧に健康観察を行う。 ・季節によって、加湿器やネブライザーを使用して取り組む。 ・補助具や写真カードなどを使用して、生徒が自分から活動できるようにする。 ・生徒の実態に応じて、課題を段階的に設定する。 ・生徒の興味をもてるような題材を設定し、教材を工夫する。 	

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	日常生活の指導	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	187 単位時間
年間指導目標	(知)日常生活の諸活動を身に付ける。 (思)見通しを持ち、規則正しい生活習慣を形成する。 (学)自立的な生活を意識して日常生活の活動に取り組む。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:松島理絵、森本健治、野畑慶匡、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	なし				

期	月	単元（題材）名	指導時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点） （知）知識・技能 （思）思考力・判断力・表現力 （主）主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	日常生活の取り組み	16	○個に応じた取り組み ◆それぞれの係活動等の取り組みを行うことができる。	(知) 日常生活の活動の中で協力動作や日常生活の諸活動を身に付ける。 (思) 見通しを持ち規則正しい生活リズムの確立を図る。 (主) 自立的な生活を意識して日常生活の活動に取り組む。
	5		18	○排せつ指導 ◆自分で排せつをしたり、協力動作をしたりすることができる。	
	6		21	○摂食指導 ◆安全に摂食することができる。	
	7		12	○余暇活動 ◆活動を通して体力や健康を維持・増進することができる。	
二学期	9		18		
	10前半	10			

期	月	単元（題材）名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標（評価の観点）
二期 期	10 後半	日常生活の取り組み	10	○個に応じた取り組み ◆それぞれの係活動等の取り組みを行うことができる。	(知) 日常生活の活動の中で協力動作や日常生活の諸活動を身に付ける。 (思) 見通しを持ち規則正しい生活リズムの確立を図る。 (主) 自立的な生活を意識して日常生活の活動に取り組む。
	11		19	○排せつ指導 ◆自分で排せつをしたり、協力動作をしたりすることができる。	
	12		18	○摂食指導 ◆安全に摂食することができる。	
三期 期	1		13	○余暇活動 ◆活動を通して体力や健康を維持・増進することができる。	
	2		18		
	3		14		
指導の工夫 学習時の配慮事項等			<ul style="list-style-type: none"> ・個に応じた取り組みを行う。 ・年齢に応じた指導を行う。 ・体調を十分に把握して日々の指導を行う。 ・摂食指導の中で、適切に歯磨き指導を行う。 ・個々の生徒の実態の変化に応じた取り組みを設定する。 		

令和 8年度 都立鹿本学園（肢体不自由教育部門） 年間指導計画

学 部	高等部	学 年	3学年	教育課程名	自立活動を主とする教育課程
教科等名	生活単元学習	グループ名	A学習グループ	年間授業時数	109 単位時間
年間指導目標	(知)様々な活動を通して、自分、身近な人、社会、自然に関心を持ち、日常生活での基本的な習慣や技能を身に付ける。 (思)植物の生長の観察、季節行事を通して自然の変化や季節、日本の文化を感じ、興味・関心の幅を広げることができる。 (学)学習や活動を通して達成感を味わいながら、自信を持って意欲的に取り組むことができる。 ※ (知) 知識及び技能 (思)思考力、判断力、表現力等 (学)学びに向かう力、人間性等				
担当教職員	教諭:松島理絵、森本健治、野畑慶匡、長岡優花 学校介護職員:大森美恵				
使用教科書	ともだち(玉川大学出版部)				

期	月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい	単元の目標(評価の観点) (知)知識・技能 (思)思考力・判断力・表現力 (主)主体的に学習に取り組む態度
一学期	4	季節を感じよう(栽培・収穫)	7	○野菜や植物の種まき・栽培活動 ◆土や植物を観察したり、水やり等の活動をしったりすることができる。	(知)土に触れたり、水をかけたりする基本的な栽培活動を体験することができる。 (思)好みの植物を選んで植えるなど、自分なりの判断が見られた。 (主)栽培活動に対して、笑顔や声で反応し、意欲的に関わろうとする姿勢が見られる。
	5	古紙のリサイクル活動	13	○リサイクル活動 ◆新聞紙等を再利用するための基本的な工程を行うことができる。	(知)新聞紙や包装紙などを使って、切る・折る・貼るなどの基本的な工程を体験することができる。 (思)紙の質や量を感じたり、選んだりしながら自分なりの判断が見られる。 (主)みんなと協力したり、順番を守ったり、役割を果たしたりできる。
	6	季節を感じよう(収穫)	10	○作品作り ○野菜の収穫 ◆季節の作品を切る・貼るなどの工程を行い制作したり、それぞれのやり方で野菜を収穫したりすることができる。	(知)成長した植物の実や花に関心を示し、観察する姿が見られる。 (思)実の色や大きさの違いに注目し、好みのものを選ぶなどの判断が見られる。 (主)栽培活動に対して、笑顔や声で反応し、意欲的に関わろうとする姿勢が見られる。
	7	季節を感じよう(余暇活動)	7	○調理(かき氷を作ろう) ◆それぞれのやり方で道具を操作することができる。	(知)教員と一緒に食材や道具を安全に扱うことができる。 (思)冷たい食感や色の変化に注目し、季節の特徴を捉えた反応が見られる。 (主)冷たい食べ物に触れることで、季節の変化を感じ取り、自然への親しみを表す姿が見られた。
二学期	9	季節を感じよう(余暇活動) 古紙のリサイクル活動	11	○調理(アイスを作ろう) ◆冷たい食材に触れたり、変化を感じたりすることができる。	(知)教員と一緒に食材や道具を安全に扱うことができる。 (思)冷たい食感や色の変化に注目し、季節の特徴を捉えた反応が見られる。 (主)冷たい食べ物に触れることで、季節の変化を感じ取り、自然への親しみを表す姿が見られた。
	10前半	季節を感じよう(栽培・収穫)	6	○野菜や植物の栽培・収穫活動 ◆野菜や植物を観察し、それぞれのやり方で収穫することができる。	(知)土に触れたり、水をかけたりする基本的な栽培操作を体験することができる。 (思)好みの植物を選んで植えるなど、自分なりの判断が見られた。 (主)栽培活動に対して、笑顔や声で反応し、意欲的に関わろうとすることができる。

期	月	単元(題材)名	指導 時数	主な学習内容	単元の目標(評価の観点)
一 学 期	10 後 半	季節を感じよう(調理活動) 古紙のリサイクル活動	7	○スイートポテト作り ◆基本的な調理操作を体験し、調理の流れを理解することができる。	(知)洗う・つぶす・盛るなど基本的な調理操作を体験することができる。 (思)食材の変化に注目し、調理の流れを理解しようとするすることができる。 (主)サツマイモの調理活動に対して、笑顔や声で反応し、意欲的に関わろうとする姿勢が見られる。
	11	季節を感じよう(調理活動)	12	○さんまを焼こう(新米を炊こう) ◆食材の感触、におい、焼き色などを認識することができる。	(知)さんまに触れ、表面の感触や匂いの違いを認識することができた。 (思)さんまの形や焼き色に注目し、完成品を見て自分なりの判断や反応が見られる。 (主)食材を大切に扱い、季節の味覚を楽しむことで自然に親しもうとする。
	12	季節を感じよう(作品作り)	9	○作品作り(リース、干支物、カレンダーなど) ◆様々な素材に触れ、季節の作品を制作することができる。	(知)素材を貼る・並べるなどの基本的な操作を体験することができる。 (思)好みの色や形を選ぶ場面で、自分なりの判断が見られる。 (主)作品づくりに対して、笑顔や声で反応し、意欲的に関わろうとする姿勢が見られる。
三 学 期	1	季節を感じよう(もうすぐ春) 古紙のリサイクル活動	8	○年の初めを感じよう ○節分の準備(やいかがし) ◆日本の伝統行事を感じ、伝統文化への関心を持つ。	(知)節分の飾りづくりを通して、日本の伝統行事に親しむことができた。 (思)鰯と柀の特徴に注目し、飾りの形や配置を選ぶ場面で自分なりの判断が見られる。 (主)季節の行事に親しみをもち、伝統文化への関心が育まれている様子が見られる。
	2	季節を感じよう(作品作り)	12	○高等部での思い出をまとめよう ◆卒業を意識し、作品を制作することができる。	(知)卒業という行事に関連した活動を通して、節目の意味に親しむことができる。 (思)完成した作品を見て、表情や声で喜びを表す姿が見られる。 (主)卒業という節目を意識し、仲間とのつながりや思い出を大切にする姿が見られる。
	3	季節を感じよう(もうすぐ卒業式)	7	○卒業式の準備をしよう ◆卒業に向けて制作したり、卒業に向けて意識を持つ。	(知)卒業に向けた記念活動の準備、節目の行事に親しむことができる。 (思)卒業への思いを表情や声で喜びや達成感を表す姿が見られる。 (主)卒業という節目を意識し、仲間とのつながりや自分の成長を大切にする姿が見られる。
指導の工夫 学習時の配慮事項等				<ul style="list-style-type: none"> ・季節や実生活を意識した多様で豊かな経験ができるようにする。天気や季節を考慮する。 ・生徒の表情、発声、発語、言葉などを丁寧に聞き取り表出で応える過程を通して、コミュニケーション力を高める。 ・手を使った活動では、肘を支えたり、道具と一緒に握ったりして支援し自分でできることを増やし、達成感を味わえるようにする。 ・タブレット、スイッチ、補助具などを用いて、自ら進んで活動に取り組もうとする気持ちを引き出す。 	